

宇部市 コミュニティ・スクールだより No.5

令和4年度

令和4年度 宇部市コミュニティ・スクール研修会

7月28日（木）に、万倉ふれあいセンターにて、令和4年度宇部市コミスク研修会をシンポジウム形式で開催致しました。テーマは「児童生徒参画による学校づくり、地域づくり」です。4名のシンポジストの皆様、事例を紹介して頂き、山口大学大学院 教授 松田 靖様にコーディネート役を務めていただきました。本号ではその概要をお知らせします。

開校 150 周年を児童、地域の力で！ 東岐波小 校長 小野 晃子 様

開校 150 周年への取組を、6 年生国語科「私たちにできること」の授業テーマに取り上げることにより、一部の児童ではなく、6 年生全員が学運協委員さんと熟議をしました。学運協で意見交換することはもとより、その後の授業では、主体的に考え、対話的に深め合う姿が見られ、ふるさと「東岐波」に対する愛着と共に、学校づくり、地域づくりへの当事者意識が芽生え始めました。

6 年生は熟議参加、5 年生はオブザーバー参加 岬小 校長 吉田 衆一 様

6 年生全員と学運協委員さんが、「学校と地域の課題」について熟議をしました。その様子を取り囲むように参観したのが 5 年生です。熟議の後、6 年生が地域の皆さんと清掃活動で流した汗は、自己有用感、自己肯定感へとつながりました。5 年生は、6 年生へあこがれの気持ちを抱いています。参加型熟議の継承により、持続可能な学校・地域づくりをめざします。

地区、校区の小学校と連携した地域貢献 桃山中学校 教務 原田 靖裕 様

生徒会代表と学運協委員による熟議で、地域を美しくすることで恩返しをしたいということになり、新川・小羽山両小学校と両地区の環境衛生部と連携して、一斉清掃に取り組みました。大人発ではなく、中学生発の小学校、中学校、地域合同の協働活動となり、両地区センターだよりの紙面には、広く感謝の気持ちが伝えられました。

ヤング自治会を校内に組織し、後継者育成 藤山中学校 校長 森田 成寿 様

生徒参加型熟議の内容を、確実に活動に結びつける為に、「ジーフの会」（フジの逆読み、管理職、地域連携担当、コーディネーター、学運協会長で組織）を定期的で開催しています。一方、自治会の高齢化、つながりの希薄化等への対応として「ヤング自治会」を組織し、地域の環境整備等を行い、「将来の地域を担う人材育成」に繋がってきています。



事例紹介後のまとめ

事例紹介の後、多くのご意見を頂き、大いに盛り上がりました。結びに当たり松田先生は、「児童生徒が、学校・地域づくりの主人公です。地域の大人と真剣に語り合い、一緒に活動した体験は自己肯定感、郷土愛の育成につながり、学校にとっても Win、地域にとっても Win となります。双方にとって WinWin であることが持続可能となります。『児童生徒参画による学校づくり、地域づくり』の推進が、宇部の学校をつくり、地域をつくる力となる。」と総括されました。